

音別町コミュニティセンター

開催日時	平成 29 年 10 月 26 日(木) 18:30～19:30
会 場	研修室 1・2
参加人数	10 人
出席議員	秋田慎一 副議長 松橋尚文 議員（議会運営委員会委員） 森 豊 議員（総務文教常任委員会委員、議会広報特別委員会委員：司会） 松永征明 議員（経済建設常任委員会副委員長、石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会委員、水道事業審査特別委員会委員） 梅津則行 議員（民生福祉常任委員会委員） 村上和繁 議員（都心部市街地整備特別委員会委員長）

意 見	市立病院の新棟建設において、音別の木材をふんだんに使った設計をしてほしい。
梅津議員	病院において木材のようなぬくもりのある材質を使うことはとても大事なことだと思う。12 月定例会において実施設計の内容を審査することになると思うので、その際に担当部に伝えしっかり議論していきたい。
松永議員	市議会の全会派で林産業の活性化を推進するための議員連盟をつかっており、木材の活用などについても国に対して要請を行っているし、議会の中でも議論をしている。

意 見	釧路石炭火力発電所について、石炭と木質バイオマスを混焼するということが、木質バイオマスの割合をもっと増やしてもよいのではないか。
森 議員	事業会社との意見交換の中で、ぜひ地元産の燃料を使う体制をとってほしいという話もあった。事業の内容がまだ全てははっきりしていない状況であるが、そのようなご意見があったことを事業会社に伝えたい。

意見	市立病院で受診する際の待ち時間が長く、音別町から行くと一日かかってしまう。遠方から来た人はなるべく早めに対応してもらえるようにしてほしい。
梅津議員	待ち時間の課題は市立病院も含めて大きな病院全てに共通するものと思うが、新棟建設の議論が今まさに議会の中でもされているので、その中でハード面だけではなくてソフト面についても、来院する患者の皆さんが本当に満足できるための議論を委員会でもしていきたい。また、委員会において医師の過重労働が大きな問題になっており、市立病院のみならず釧路市全体としての医師確保という課題に力を入れながら、患者の皆さんにしっかりサービスを提供できるように進めていくという議論の中で、今のご意見もしっかり伝えていきたい。

意見	書類の中で読み方がわかりづらい名前には振り仮名をふってほしい。
森議員	現在いる議員には、読み方がわかりづらい名前の者はいないと思うが、広報担当の委員会としてご意見を受けて今後に生かしていきたい。

意見	生活保護受給者は医療費が無料となるが、一生懸命働いていながら不幸があったなどして受給している人はともかく、そうでなければ不公平ではないか。
梅津議員	生活保護の不正受給や、医療費についても過剰診療というものが実際にあるが、釧路市ではレセプトを見て本当にその診療が必要かどうかというチェックを行っており、過剰診療も少しずつ減ってきている。今回の9月定例会において、精神疾患で働けなくなった若者など実際に生活保護の申請をしているのはどういう人たちなのかという議論をしたが、一方で今ご指摘があったような問題もあるわけで、そこは法律に基づいた対応がされているものと思う。お話があったことについてはしっかりと受け止めて、今後議論させていただきたい。

質問	パンクル湖畔や尺別駅前にある空き家が非常に見苦しいので、所有者に関係なく強制的に解体することができないのか。
----	--

松永議員

それらの案件については議会の中で今のところは議論されていないが、今回のご意見を踏まえて行政のほうに話をしていく。全体的な空き家対策としては、不良空家等除却補助制度として除却工事費の3分の1、30万円を限度に市が補助するというので、予定件数を超えた申請があったとの報告を受けている。